

童

2014年9月26日。

黄金色の田んぼ。今年は、町の安全協会の役員で先日の祭りの日は、真夜中までずっと神楽と一緒に町内を歩いた。本当に美しい田圃でした。特に、夜中の12時近くに、その田圃の真ん中からスターマインが上がり、その明るさで照らし出された黄金色の稲。まさに五穀豊穡を願う変わらぬ光景でした。今年も、こんな秋を迎えられたことに感謝です。

子ども達の田んぼにも4匹のネズミ案山子が立てられ、連日見張りをしてくれています。まもなく、稲刈り。この田んぼの光景は、春からのあらゆる作業や散歩を通じて、子ども達の心の中に、農村の光景として残ってくれたらいいなあと感じています。

また、子ども達と連日続けている森の整備。初夏の鼻見城址整備（先日、この地域の草刈りに協力しに行き、とても感謝されました）に続き、大地の森も日毎に綺麗になっています。これは、家や畑や花壇の建築整備と同じく、とてもクリエイティブで、歴史に残る体験作業です。子ども達が道を作り、遊歩道や森を作ったなんて、とてもロマンがあります。度十公園園林（宮澤賢治）のように、この森、この道は、あの時の子ども達が作ったものだと言語継がれることでしょう。

子ども達の作業と言っても、切り倒した枝や落木などをひたすら運び出したりする作業。その傍らで大人は、チェーンソーなどで切り倒したり、アスレチックや大工仕事をしたり。この一体となったクリエイティブ作業が暮らしとして息づいていると思います。この中で、一番おいしい思いをしているのは青ちゃん。一番絵画的に、ツリーハウスを作ったり、木を倒したり、遊歩道を作ったりしたのは、あの大人、青ちゃんだったという歴史が、子ども達の心にアルバムとして一生残るのですから。だから、やめられませんね。



【多事多難 これ全て人生の華】

先日、数年ぶりに大地へ来た OBOG の保護者や子供たちが、「大地は綺麗になりましたね」「進化しましたね」と言ってくれました。とてもうれしかったですね。数年前、サンクゼールの花壇の美しさを見て、大地もそんな風に美しい空間にできたらいいなあと思ったのがきっかけだったり、サンクゼールのスタッフが、朝毎日竹ぼうきで道路を掃いているのを見て刺激を受けたり。そして、「丁寧に生きる」を一つのテーマにしてチャレンジしようと決めたり。

それは、文庫火災という時期がきっかけだったと思います。災難 「災い転じて福となす」「大変とは、大きく変わる事」これ以来、大地の事務室の私の目の前の壁に ①至誠（目の前の事に全力）②最善を尽くす事に喜びを③丁寧という額が掲げられました。

スタッフは、これ以来毎朝、駐車場の道路を掃こうと決め、花壇の整備をして、大地に入ってくる道々でいい気持ちになってもらおうと、草刈りや草取りや樹木の剪定などをしようと決めました。環境を見直して、美しく丁寧に整備し直し、これから作る建物なども美しいものを作っていこうと決めました。文庫の本も、ラベルやカードを一冊一冊に張り付けて、地道に整理して再び貸し出す方法を選びました。これらは、全てチャレンジでした。今更、苦労しても、改めてエネルギーをかけるのもしんどいという考えもありますが、（挑戦しなければ、傷つくことも、失敗や挫折もないし） 「チャレンジの後に残るのは、成功か成長のみ」を信じてやることに決めました。

全ての施設用品の安全点検。集いの部屋や廊下、トイレ周りの壁の塗り替え。全ての樹木の剪定、間引き。花壇の新設整備。五右衛門風呂野外トイレの新設再整備。石釜や竈小屋の整備。そして、みずぐるま建設そして、今年のカラマツ伐採アスレチック取り壊し及びツリーハウス建築。チップ敷き。そして、現在の森林整備。これらは、あの火災がなければ、到底できなかったことかもしれません。

何度も話していると思いますが、家族6人及び両親と目の前で燃えている文庫を見ながら、泣きじゃくる母親を傍らに 「これは、自分の人生に意味のあること。絶対にこのままではお父さんは終わらない、自分で落とし前をつけ 必ずこの手で数倍もいいものを作ってやるから」と宣言していた自分がいました。この災難を絶対に華にしてやるというエネルギーでした。

このエネルギーは、世に言う「負のエネルギー」です。飛び立つときのエネルギー。「負けるもんか」「見返してやる」「今に見ている」などのエネルギーで、起業したり事を起こす時、上昇する時のそれです。但し、長続きせず、安定飛行に入った時は、もちろん必要ありませんね。現在は 自己満足の平穏なエネルギーですが。
※長続きしないその証明として、この1ヵ月のツリーハウス作りと森林整備の疲れで、ただ今、ぎっくり腰で静養中！！
パソコンで座って童を書くのがツライ！！

大地の駐車場から大地までの道のり。歴代のまりちゃんやマノッチが掃き清められたアスファルト。大地の看板。左側のリンゴ畑は伐採されたので、見通すことができるみずぐるまの建物。そして、ガウラが咲き誇る花壇。曲がると、ラベンダーやミントや草花が咲き誇る花壇。チップの地面。妙高笹ヶ峰の緑の牧場牧草の景色がお気に入りなので、少しはそれに近づこうと、整備してきた芝生や樹木も、いつの間にか何とかいい感じになってきたようです。

建物の整備と同様に、建物から見る景色、光景も、絵画的に美しいものでなければなりませんね。周りが綺麗になると、今度は、見苦しい物が目立つようになってきてしまいます。特に、みずぐるまの窓から眺めると、大地全体が見渡すことができ、更に整備するポイントが発見できます。

そして、現在の魔女の森。春先にアスレチックを壊し、カラマツを伐採して、この森をどうイメージしようと考えていましたが、そのきっかけはツリーハウス。これを作り始めた段階から、いつものように湯水のようにひらめき、イメージができがあり、子ども達に冬が来る前に、アスレチックやブランコや素敵な森の世界をプレゼントできるころまで漕ぎ着けました。現在は、大地南東の森の整備に入っています。大地のキャンパス画面が、どんどん塗り替えられていくのが楽しみです。と言っても、これからの整備保全のほとんどは草刈作業だとふと気づきました。という事は、従来の倍以上は、草刈が待っているという事です。まさに、多事多難です。

今年の運動会。天候に恵まれた運動会。でも、何か物足りなかった！？ 強烈な印象が残っていないぞ！？
今でも語り継がれる昨年の運動会。悪天候の鏡池クロカン。「多事多難 これ全て人生の華」失敗や苦労を、どうやって乗り切ったか、立ち直ったか、それらを後日笑って語り合えることが、その人の人生の成長でしょう。

さあ きょうも、チャレンジ トライして、自分の成長に自己満足しよう。